

## 年頭のごあいさつ



八雲  
町長

萬

谷や  
俊  
美み

## 年頭のごあいさつ



八雲  
町議会議長

大  
久保  
建  
一

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、清々しく希望に満ちた新年を迎えるられましたことと、心からお慶び申上げます。また、日頃から町政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年10月の町長就任以来、町民の皆さまの大きな期待を胸に刻み、地域の未来を拓く責任の重さを日々実感しております。皆さまから直接お話を伺う中で、地域が抱える課題を改めて感じており、皆さまの声に真摯に耳を傾け、共に考えながら八雲町の明るい未来を築く決意を新たにしました。

改めて感じており、皆さまの声に真摯に耳を傾け、共に考えながら八雲町の明るい未来を築く決意を新たにしました。

一方で、令和7年は旧八雲町と旧熊石町の合併から20年を迎える記念すべき節目の年でもありました。これまでまちづくりのために弛まぬご努力を賜りました町民の皆さまに、改めて深く敬意を表すとともに感謝を申し上げます。

現在、新年度に向けた予算編成を進めておりましたが、限られた財源の中でも、教育、福祉、産業、防災など、生活を支える施策を着実に前へ進め、皆さまが笑顔で安心して暮らしたところでございます。

昨年は、国内外の情勢変化により、生活必需品などの価格高騰が続き、物価高騰への対応が全国的な課題となりました。当町におきましても家計や事業者への影響は甚大であり、国と連携し、物価高騰対応プレミアム商品券発行事業など、地域経済を下支えする取り組みを進めてまいりました。

また、12月8日には青森県東方沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、町内では震度3を観測、翌9日には、令和4年の制度運用開始後初となる「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。地震はいつ発生するか予測が難しいため、非常持出品の準備や避難場所、避難経路の確認など、日ごろから地震への備えをされますよ

う、切にお願い申し上げます。

一方で、令和7年は旧八雲町と旧熊石町の合併から20年を迎える記念すべき節目の年でもありました。これまでまちづくりのために弛まぬご努力を賜りました町民の皆さまに、改めて深く敬意を表すとともに感謝を申し上げます。

昨年は町長選挙と町議会議員選挙の年として、町民の皆さまの貴重な信託と厳しいご審判をあらためて痛感する一年となりました。

町長選には2名の候補者、町議選は定数14名に対して、16名が立候補され、8年ぶりの選挙戦は活気と熱意に満ちて、町民の関心の高さを改めて感じさせるものでした。

選挙を通じ、町民の皆さまの声が議会の場へより近づく機会となつたことに、深く感謝申し上げる次第です。

また、当選議員の中には、昨年度の春から夏にかけて初めて実施した「八雲町議会議員なり手養成講座」の受講生が3名も含まれており、議会に新しい風と実践的な視点が加わる喜びを感じたところであります。

輝かしい新春を迎え、町議会を代表し、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまには、平素より町議会に対し温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深くお礼申し上げます。

昨年は町長選挙と町議会議員選挙の年として、町民の皆さまの貴重な信託と厳しいご審判をあらためて痛感する一年となりました。

若い力と多様な経験が混ざり合うことで、より活力のある議会づくりが進むと確信しております。

しかし、私一人の力で成し得るものではなく、開かれた議会を目指すという共通の目標を、チーム八雲町議会全員で共有し、力を合わせて取り組んでまいります。

本年は、町民の皆さまの声を丁寧に聴く場を増やし、政策の論点、争点を分かりやすく伝える努力を一層推進しながら、異なる意見を尊重しつつ、合意形成へと結びつける丁寧な議論を心掛け、議員それぞれが責任を自覚し、経験と新しい視点を活かして、地域の安心・安全と暮らしの質の向上に寄与してまいります。

結びに、八雲町の更なる発展と、町民の皆さまのご多幸を心より祈念申し上げ、新年のごあいさつといた